



暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまできているようです！たくさん遊んで、いっぱい食べて、そしてしっかりと休息を取りながら、体の変化に気をつけつつ、暑い夏を過ごしていきたいと思います。

今月は水遊びなどこの時期ならではの遊びを楽しみながら大人も子どもも元気に過ごしたいと思います。



【指先を使った遊びを通して育まれる力】

クラスでは、遊びを通して指先を使う経験を大切にしています。洗濯ばさみのような玩具では、指先に力を入れながら「つまむ」「開く」といった動きを繰り返し楽しんでいます。また、車の形をした布おもちゃではボタンを留めたり外したりといった動作に挑戦する姿が見られています。子どもたちは、繰り返し遊ぶ中で少しずつ指先の使い方が上手になり、「できた！」という喜びを感じています。先日取り組んだシール貼りでは、台紙からシールを剥がし、貼りたい場所を見定めながら一枚ずつ丁寧に貼る姿が見られました。「ここに貼ろうかな」と考えながら取り組むことで、集中力や自分で選択する力も育まれています。

ボタンの玩具

ひも通し

チェーンリングを
器に盛り付ける

コンセント型玩具を
穴に押し込む

狭い枠にブロックをはめる

井形ブロック

積み木

マグネットブロック

マグネットブロック

パズル

完成したときには、自信や次への意欲にもつながっています。このような指先を使った細かな動きは「微細運動」と呼ばれています。微細運動は、衣服の着脱でボタンを留めることや、スプーンや箸などの食具を使うこと、将来的には鉛筆を持って文字を書くことなど、生活の基礎となる大切な力です。遊びの中で繰り返し経験することで、指先の巧緻性が高まり、自分でできることが増えていきます。

6月には、かたつむりの製作に取り組みました。数種類のお花紙の中から好きな色を自分で選び、指先でくしゃくしゃと丸め、のりを使って貼り付けていきました。お花紙を丸める、のりを塗るといった工程には、指先の細かな動きを調整する力や、見たものに合わせて手を動かす「手と目の協応」が含まれています。また、自分で色を選び、表情を考えながら取り組むことで、選択する力や表現する楽しさも育まれています。活動の中では、「もう一回やってみたい」「自分でできた」という嬉しそうな表情も多く見られています。自分で挑戦し、試行錯誤しながら取り組む経験は、指先の発達だけでなく、集中力や意欲、最後までやり遂げようとする気持ちにもつながっています。

これからも、一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、遊びや製作を通して指先を使う楽しさや、自分でできる喜びを味わえるよう、子どもたちの育ちを丁寧に援助していきたいと思います。



かたつむりの製作



お願い

着替えの際には、友だち同士の衣類が混ざってしまうこともあります。また、記名が薄くなっている物も見受けられます。持ち物の見直しをしていただき、記名や、薄くなっている場合には書き直しにご協力をお願いいたします。